

議会だより

Vol. 184
2015.10.22



9月の
定例会

- ② 総額196億円はどう使われたのか! 平成26年度決算
- ①⑥ 行政視察 南相馬市の復興の取り組みを聞く
- ⑨ ズバリ!! 町政を問う 5議員が質問
- ②② シリーズ 復興へのあゆみ step4

みんなで一緒にお団子づくり/とみたさくら保育園(お月見会)

総額 196億円は どう使われたのか!

《一般会計 123億円

特別会計 73億円》



監査委員の審査意見

平成26年度一般会計及び特別会計決算審査の結果報告を坂本和久代表監査委員より受けました。
坂本代表監査委員は「決算係数は正確であり、予算の執行において一部努力を要する部分があると見受けられたが、概ね適正に行われ所期の成果を収めた」と結果を述べました。



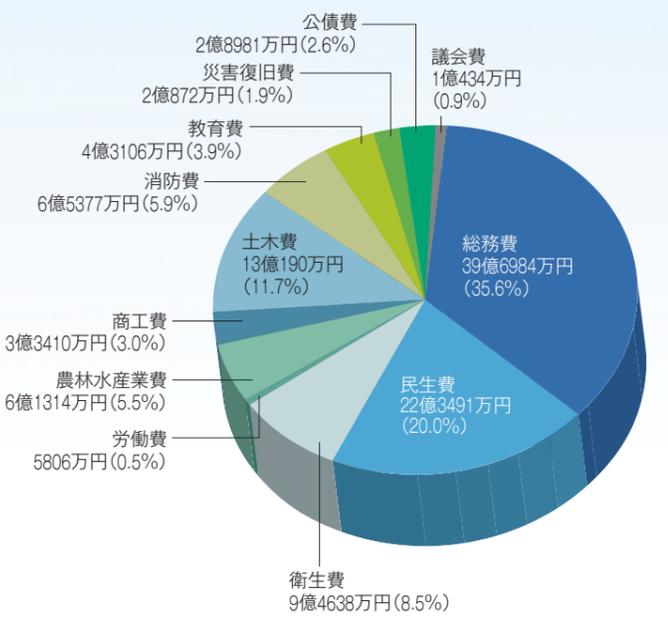
定例会のあらまし

平成27年9月定例会は9月11日から15日まで5日間の会期で開催しました。平成26年度一般会計及び特別会計の決算認定をはじめ、平成27年度の補正予算、条例の一部改正、人事案件など、計31件の議案を慎重に審議し、可決30件、否決1件で終了しました。
一般質問では5議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いました。

歳出(支出)の主なもの

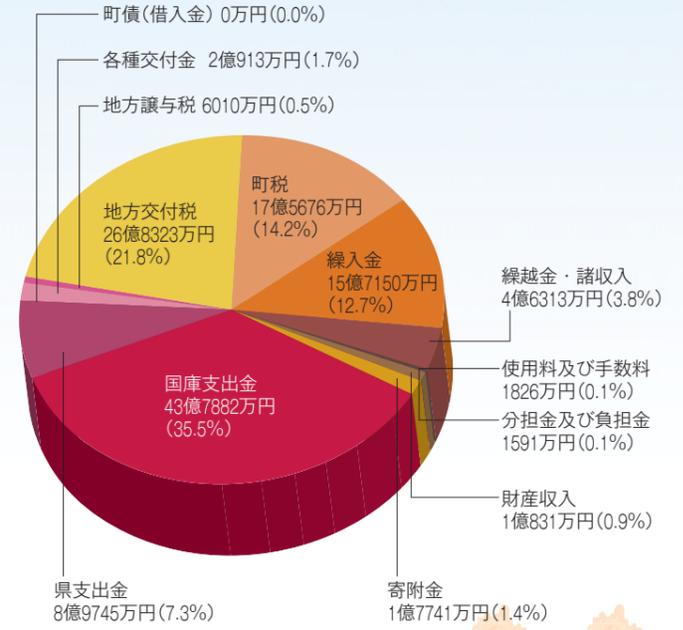
- 総務費 (全般的な管理に要する経費。徴税費や選挙費なども含まれる)
..... 39億6984万円
- 民生費 (福祉などに使われる経費。高齢者福祉費、障害者福祉費、生活保護費などが含まれる)
..... 22億3491万円
(・ 社会福祉費 11億4644万円
(・ 児童福祉費 3億4838万円
(・ 災害救助費 7億4008万円
- 衛生費 (健康で衛生的な生活環境を保つために使われる経費。健康増進費、疾病予防費、環境保全費などが含まれる)
..... 9億4638万円
(・ 保健衛生費 6億5894万円
(・ 清掃費 2億6407万円
(・ 上水道費 2336万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費)
..... 6億1314万円
(・ 農業費 6億1万円
(・ 林業費 310万円
(・ 水産業費 1002万円

歳出(支出)



- 商工費 (商工業の振興に要する経費)
..... 3億3410万円
- 災害復旧費 (災害によって生じた被害の復旧に要する経費)
..... 2億872万円
(・ 農林水産施設災害復旧費 2328万円
(・ 公共土木施設災害復旧費 1億8543万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費)
..... 2億8981万円

歳入(収入)



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)
..... 6010万円
- 地方消費税交付金 (国が徴収した消費税のうち、町分として国から交付されたお金)
..... 1億8690万円
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)
..... 26億8323万円

歳入(収入)の主なもの

- 町税 (皆さんが町に納めた税金)
..... 17億5676万円
(・ 町民税 5億7406万円
(・ 固定資産税 11億4890万円
(・ 軽自動車税 2053万円
(・ 町たばこ税 1325万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)
..... 15億7150万円
(・ 特別会計繰入金 2933万円
(・ 基金繰入金 15億4216万円
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金)
..... 1億9148万円
- 諸収入 (雑入など、その他の収入)
..... 2億7165万円
- 使用料及び手数料 (住民票や印鑑証明などの手数料収入)
..... 1826万円
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金)
..... 52億7628万円
(・ 国庫支出金 43億7882万円
(・ 県支出金 8億9745万円

【環境クリーン化事業】 …………… 4億9081万円

町内の環境を保全するために、牛や豚等の遺骸家畜を衛生処理しました。

問 帰町を目指す畜産農家の牛舎清掃等にも補助金を転用できないか。

答 産業振興課 民有地に埋まっている遺骸家畜の処理については、国も県もまだ方針を示していません。当町はクリーン化事業を先行して実施しているもので、予算が配分されれば、町としてさらに事業を拡大することは検討できる旨、国に伝えていきます。

現在、復興庁、環境省が協議しており、その回答を待っている段階です。

【スポーツ拠点づくり推進事業】 …………… 400万円

全国小学生ゴルフ選手権大会実行委員会補助金として支出しました。

問 全国小学生ゴルフ選手権大会は今年で10年目を迎え、一区切りがついたと思うが、今後の方針は。

答 産業振興課 当初から10回で終了する予定でしたので、今年度を節目の年として、当町が運営主体となつての開催は終了することになります。

ただ、町として10年間実施してきた実績のある事業ですので、運営主体を県に移して、来年度以降も継続して実施してもらえるところに要望しているところです。

**平成26年度
決算質疑**



【再会の集い事業】 …………… 565万円

ふるさとへの思いをつなぐ友情の集いを開催しました。

問 年々参加者が減少している。もっと子どもたちが来たいと思うような工夫が必要では。

答 教育総務課 次年度に向けて、ふるさとを離れた子どもたちの関心をひくような企画を考え、より多くの子どもたちに来てもらえる楽しい場を提供したいと考えます。

【応急仮設住宅維持管理事業】 …………… 6293万円

応急仮設住宅の老朽箇所の修繕やコミュニティ支援など、維持管理を行いました。

問 仮設住宅の空き住戸の状況は。

答 生活支援課 空き住戸は増えていきます。今後、復興公営住宅への入居が進み、さらに仮設住宅の入居戸数の大幅な減少が見込まれます。

問 仮設住宅退去時の入居者の修繕範囲は。

答 生活支援課 町としては、クロスの汚損等、軽微なものについては極力修繕は求めない方針です。屋根をつけるなどの改造をした場合には、原則、原状回復を求めます。



友情の集いで富岡町内のジオラマを展示



実質公債費比率(歳入に対する借金返済の割合)が早期健全化基準の25%を超えると、町の財政が危険な状態であると判断され、財政再生計画の策定等が義務付けられます。

平成26年度の実質公債費比率は7.9%であり、基準を大きく下回っているとの報告を受けました。

健全化判断比率の状況

(単位：%)

指標項目名	26年度	25年度	24年度	早期健全化基準	財政再建基準
実質公債費比率 ※歳入に対する借金返済の割合	7.9	10.0	12.0	25.0	35.0

実質赤字比率：一般会計を対象とした歳出歳入の赤字額の割合
 連結実質赤字比率：全ての会計を対象とした歳出歳入の赤字額の割合
 将来負担比率：公社や第3セクターなども含め、将来負担すべき借金の割合

赤字がないため、いずれも算定されていない。

平成26年度一般会計および特別会計決算を全会一致で承認

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	123億4006万円	111億4608万円	11億9398万円	
特別会計	国民健康保険事業	34億6510万円	30億7002万円	3億9508万円
	蛇谷須地区特定環境保全公共下水道事業	2643万円	2105万円	538万円
	公共下水道事業	15億6909万円	11億3579万円	4億3330万円
	農業集落排水事業	4億7931万円	3億4220万円	1億3711万円
	曲田土地区画整理事業	7494万円	7457万円	37万円
	介護保険事業	15億6859万円	15億3038万円	3821万円
	後期高齢者医療事業	3603万円	3370万円	233万円
	仮設診療所	5140万円	3693万円	1447万円
	介護サービス事業	647万円	612万円	35万円
	合計	196億1742万円	173億9684万円	22億2058万円



全ての会計は適正である

こんなことが 決まりました

人事案件

固定資産評価 審査委員を再任

任期満了となる固定資産評価審査委員に三瓶一義さんを再任する議案が提出され、投票の結果、賛成多数で同意しました。

任期は平成30年9月30日までです。



三瓶 一義さん
(仲町行政区)

財産の出資

大石原・下千里地区大規模太陽光発電事業の運営会社である「富岡復興エナジー合同会社」に100万円を出資するものです。
(全会一致・原案可決)

※「富岡復興エナジー合同会社」とは

福島県などが出資して、福島空港隣接地等において太陽光発電事業を実施している福島発電株式会社、平成27年7月1日に設立した会社

町政報告要旨

アクションプラン

6月に策定した「第二次復興計画」を具現化させ、富岡町の再生と将来の発展に向けた町づくりを進めるため、復興拠点整備に係る実施計画となる「富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン」を策定し、帰町に向けた生活環境の整備を進めています。

「復旧課・復興推進課 保健センターへ」

現在、榎葉町の双葉地方水道企業団で執務している復旧課及び復興推進課を、先行整備していた保健センターに10月1日に移転いたします。

役場機能の一部ではありませんが、震災後初めて、古里において業務を再開できる見通し



町政報告をする宮本町長

がついたことは、私としても非常に感慨深く、これを機に、職員の健康に十分配慮しながら、復旧・復興を更に加速させていきたいと考えています。

「交流サロン開所」

10月5日には、双葉警察署南の国道6号線沿いに「交流サロン」を開所します。

一時帰宅される町民の皆様が、休憩、交流を深める場として、気軽に利用していただきたいと考えています。

「国際共同研究棟設置」

去る8月28日、イノベーション・コースト構想に位置付けられた廃炉国際共同研究センター「国際共同研究棟」が、本町王塚地区へ設置されることが正式に決定しました。

この施設は、長期にわたる廃炉等に係る研

究開発を国内外の大学、研究機関との連携、海外研究者を招へいするなどして進めるほか、人材育成の強化プログラムの実践など、まさに「国内外の英知を結集する場」として、幅広い活用が期待されるものです。

更に、帰町後の雇用の確保や、交流が盛んなにぎわいの形成等にも繋がるなど、本町のみならず双葉郡の復興を大きく後押しするものと確信しています。

町としても、今後、立地場所の確保を始め、施設の本格的な受入体制や環境整備等を、国や県、さらにはJAEAとの十分な連携のもと積極的に進めていきます。

工事契約

小良ヶ浜浄化センター 機器修繕工事を承認

「契約相手方」

(株)日立プラントサービス

「完成工期」

平成28年3月25日

「契約金額」

九千七百九万二千元

(全会一致・原案可決)

条例改正

マイナンバーカードの 再交付手数料を新設

行政手続における特定の個人を識別するための番号(通称マイナンバー)の通知カードの再交付に伴う手数料を新設するものです。
再交付1件につき500円
(全会一致・原案可決)

10月下旬から、マイナンバー(個人番号)の通知がはじまります。

富岡町では10月下旬からマイナンバーが記載された「通知カード」を一人ひとりに簡易書留で現在お住まいの居所(避難先)へ郵送します。

転送できない簡易書留で送られますので、避難先が変わっている方は富岡町役場までご連絡ください。

マイナンバーは、平成28年1月から税(確定申告)や社会保障(年金等)の手続きが必要となる大切な番号です。通知カードは必ず受取り、大切に保管してください。



マイナンバー

- マイナンバーの制度について コールセンター
☎0570-20-0178
(全国共通ナビダイヤル：9：30～17：30 土日祝日・年末年始除く)
- 富岡町役場 住民係 ☎0120-33-6466(代表)

議員発議

議員定数に関する特別委員会を設置せよ

「発議者」

黒澤英男議員

「提案理由」

復興庁及び町が実施した住民意向調査の結果から、避難指示解除後に富岡町に帰町する町民は二千人から三千人と推定され、大幅な人口の減少が懸念される。

このことから、議員定数の問題も議員自らが行動を見せるべきであると考え、議会の更なる活性化のために調査研究をする特別委員会の設置を發議するものである。

「採決結果」

否決

(※賛成6・反対7)

「討論」

「反対意見」

渡辺三男議員

平成29年4月の避難指示解除そして帰町に向けて、町は今、一丸となつて様々なことに取り組んでいる。第二次災害復興計画やアクションプランも完成し、少しずつ光も見えてきた。

このような状況の中、議員として今やるべきことは、議員定数について議論することではなく、そんな時間があるならば、仮設住宅回りなどをして、町民に情報を伝え、町民の話を聞き、町民の足となって働くことが議員として大切なことであると考えるので反対する。

「賛成意見」

山本育男議員

「富岡町の議員定数はこのままでいいのか」という町民の意見が少なからず聞こえてくる。そういった声に応えるためにも、きちんとした形で特別委員会を設置し、全議員が意見を出し合い、議論を重ね、富岡町議会として議員定数に対するしっかりとした答えを出す必要があると考える。

そして、議員定数増なのか、減なのか、現状維持なのか、きちんと議論をして出した答えを町民に知らせることが、議員としての責務であると考えるので賛成する。

ズバリ!!

町政を問う

5議員が質問

9月定例会の一般質問に5議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 三瓶 一郎 議員 10

- 1. 水道企業団のその後について
- 2. バランスシートについて

2 遠藤 一善 議員 11

- 1. 今後の除染について
- 2. イベント公園の整備について

3 山本 育男 議員 12

- 1. 福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想について
- 2. 帰還困難区域の除染について
- 3. 健康ポイント制度について
- 4. 斎場について

4 黒澤 英男 議員 13

- 1. 管理型処分場を活用した特定廃棄物の埋立て処分事業にかかる対応について、国より示されたが、町の対応と判断について
- 2. 帰還後の固定資産税(土地・家屋)の減免処置について

5 堀本 典明 議員... 14

- 1. フクシマエコテッククリーンセンターについて



動画配信中!

一般会計 補正予算

4億8028万円を増額

《総額は140億8179万円に》

補正のあった主な事業は以下のとおりです。

- ・町づくり活性化事業費 **4億2599万円増**
町内に建設する災害公営住宅の用地取得費や基本計画策定業務委託料などの経費
- ・商業拠点施設整備事業費 **7857万円増**
町内に整備する商業拠点施設の設計等の委託料
- ・常備消防経費 **5000万円増**
帰還困難区域内にある消防署を移転させるための消防署用地取得費

質疑あれこれ??

問 商業拠点施設設計委託料の内容は。

答 産業振興課長補佐
調査設計、備品等の設備の購入費用です。施設内で事業を再開する方の負担を軽減するため、事業で使用する備品の購入費も盛り込みました。

問 今後発生すると思われる商業拠点施設の修繕費の見込み額は。

答 産業振興課長補佐
富岡ショッピングプラザの施設の再利用を予定していますが、額については今後お示ししたいと考えます。

問 施設には商業以外の事業者も入るのか。

答 企画課長
暫時的に郵便や金融、震災の記録の展示スペースなどを入れる構想を持っていますが、具体的にはまだ決まっています。



富岡ショッピングプラザ(イメージ図)

問 消防署用地の場所及び規模は。

答 安全対策課長
拠点となる曲田地区に近い所を予定していますが、地権者と交渉のため、場所はまだお示しできません。規模は富岡消防署と同程度を考えています。

問 大玉診療所の今後。

答 健康福祉課長
勤務している医師との協議により、平成29年3月までの診療となります。今後については、看護師等が家庭訪問を行い、意向調査をしています。本宮や二本松の医療機関への紹介も視野に入れながら、対応していきたいと考えています。

問 土壌汚染マップを作成してほしいが。

答 健康福祉課長
公共施設地30ポイントの土壌調査を行い、公表したいと考えています。

問 地表から5cm、町内全域メッシュでのマップを作成してほしいが。

答 町長 富岡町全域の土壌汚染マップを作成するとなれば、膨大な時間がかかりますので、難しいと考えます。ただ、避難指示を解除する上で、宅地や農地といった生活圏の空間線量や土壌汚染の状況を公表せずに解除することはないと考えています。



遠藤 一善 議員

問 今後の除染計画の見通しは

答 除染の実施を強く求める

問 町の復興再生には帰還困難区域の早期除染が必要と考えるが、除染計画の見通しは。

答 町長 帰還困難区域の除染は、いまだ計画が示されていません。第2次復興計画で、帰還困難区域の除染を町の復興と再生に不可欠なものと位置づけ、国に速やかな除染実施計画の策定と除染作業の着手を強く求めてきました。

また、居住制限区域と帰還困難区域が隣接している場所も多く、町民が安心して帰還できるように一日も早い除染の実施を継続して求めます。

問 町の復興再生には帰還困難区域の早期除染が必要と考えるが、除染計画の見通しは。

答 町長 半壊以上の建物を所有する方の不安を払拭し、住民が帰還しやすい環境を整えるために、国による速やかな建物解体事業の実施を強く求めていきます。解体を先行して除染を実施することが効率的な除染につながるものと考えており、被災者生活支援制度の期限延長とあわせてしっかりと求めていきます。

問 安全面、被災者生活再建支援制度適用の観点からも帰還困難区域の建物解体を先行した除染を行うべきと考えるが。

答 町長 本年6月以降に除染が完了する宅地においては、現行工事の中に組み込み、雨どいの下を深く掘り下げるなどの対応をしています。既に完了した宅地や舗装面の再除染は、平成28年4月以降に新たな工事として発注施工する予定です。また、国の除染結果を独自に検証する富岡町除染検証委員会を立ち上げ、局所的に線量が高い箇所はもとより、除染の範囲や手法についても専門家にしっかりと検証していただきます。

問 ホットスポット除染工程及び除染完了へ向けた町の具体的な対策は。

答 町長 本年6月以降に除染が完了する宅地においては、現行工事の中に組み込み、雨どいの下を深く掘り下げるなどの対応をしています。既に完了した宅地や舗装面の再除染は、平成28年4月以降に新たな工事として発注施工する予定です。また、国の除染結果を独自に検証する富岡町除染検証委員会を立ち上げ、局所的に線量が高い箇所はもとより、除染の範囲や手法についても専門家にしっかりと検証していただきます。

問 新たなイベント公園の整備を整備適地の確保の検討が必要

答 町長 これまでイベントで使用してきた夜の森公園等、一定程度以上の広さを確保できる公園が帰還困難区域内にあり、当面その利用が難しい状況にあることから、比較的線量の低



荒廃が進み、危険な状態となった帰還困難区域の建物

問 町内復興施策として、イベントを楽しめる新しい公園を町内の低線量地域に整備すべきでは。

答 町長 町内復興施策として、イベントを楽しめる新しい公園を町内の低線量地域に整備すべきでは。

答 企画課長 まずは適地の選定、そして規模や内容について、検討していくという段階です。



三瓶 一郎 議員

問 水道企業団の運営に対する町の対応は

答 運営の把握に努め、事業継続性を確保する

問 双葉地方水道企業団の運営について、町の対応はどのようなものだったか。

答 町長 双葉地方水道企業団の運営については、予算編成や事業計画立案を含め、構成5町の了解のもと、進められています。水道企業団が、企業団議会に上程する議案等については、事前に構成5町の財政担当者や上水道、工業用水道事業担当者で構成する構成団体連絡会議

や、各町の首長で構成する理事会で協議され、十分に構成町の意見が反映されたものとして、水道企業団議会へ上程されています。なお、個別の懸念事項等については、事前に説明を求め、意見調整するなどしており、常に、水道事業の運営や執行状況の把握に努めています。今後も、水道事業経営の一員として、水道事業の継続性を確保していききたいと考えています。

【水道の使用が再開した区域】	
○大字上郡山	○大字下郡山
○大字本岡字赤木	○下千里・高津戸の一部
○王塚・沼名子の一部	○西原・釜田の一部
○大字小浜字中央・反町・大膳町の一部	
○中央1・2丁目、本町1・2丁目	
○大字本岡字本町・日向・本町西の一部	
○上千里・日南郷・下蔵地・後田・権現山・家老沢・後作・茂手木の一部	
【使用再開目標時期を定めた区域】	
※再開を確約するものではありません。	
《平成28年1月～》	○大字上手岡のうち通水されていない区域
	○関ノ前・上本町の一部
《平成28年4月～》	○王塚・清水前の一部
	○蛇谷須・大平の一部
	○夜の森南3・4・5丁目の一部
《平成28年10月～》	○小浜の一部
【使用再開目標時期を定められなかった区域】	
○帰還困難区域	
○JR常磐線東側の釜田・反町・浜畑・前川原	

問 バランスシートへの導入を図れ複式仕訳のシステムを取り入れ財務諸表を作成・公表する

答 町長 現在、地方公共団体における予算決算に係る会計制度は、単式簿記による現金主義会計を採っています。現金主義会計は、資産、負債、減価償却費など現金支出を伴わない費用の把握ができないといったデメリットがあり、国では、これらを補完するものとして、複式簿記による発生主義会計の導入を進めています。

本年1月、総務大

臣より、統一な基準による財務書類等、原則として、平成27年度から平成29年度までの3年間で、作成するよう要請がありました。本年度内には、標準的な固定資産台帳システムの無償提供が行われる予定となつていきます。現在、町ではこのシステムに乗せられるよう公有財産管理簿の整備に取り組んでおり、その後に提供される複式仕訳システムと連携させ、財務諸表を作成・公表する考えです。

今後は、これら財

務諸表を役場のマネジメント機能の向上や、人口減少が進む中で限られた財源を有効に使うことに繋げていきたいと考えています。

※バランスシートとは、貸借対照表のことで、住民サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源で賄ってきたかを総合的に対照表示したものです。表内の資産合計額と負債及び純資産合計額が一致し、左右の均衡がとれていることから、一般的にバランスシートと呼ばれる。

企業進出に伴う 富岡工業団地造成を承認

臨時議会
全員協議会

平成27年7月15日、富岡町役場郡山事務所 桑野分室で全員協議会を開催し、企画課より富岡工業団地へ進出する企業について説明を受けました。

議員から、安全対策や雇用の問題など、今後、町が企業と一体となって取り組むべき課題は多いものの、企業の進出には賛成であるとの意見が多く出ました。

引き続き、臨時議会を開催し、企業進出に伴う富岡工業団地の造成について審議し、全会一致で可決しました。

【進出企業概要】

会社名：(株)万象ホールディングス
本社：埼玉県八潮市大瀬1-10-2
主な業務：ロックウール製造・販売・加工

※ロックウールとは

高炉スラグや玄武岩、その他の天然石などを主原料として、キューポラや電気炉で1500~1600℃の高温で熔融したものを、綿状にした耐熱性に優れた人造鉱物繊維。住宅やビルの耐火被覆材、断熱材、吸音材などに使用されている。

《今後の展開》

土に代わる農業用培地として、ロックウール培地での水耕栽培事業も展開していく。本町の農業復興の一助となり、新たな雇用の創出も期待できる。

富岡工業団地区画造成予定箇所



【造成費】 4億9500万円
【造成予定地】 ※TOTOファインセラミックスに
分譲済の土地の東側
(※現在は株アトックスが所有)
【造成面積】 約2.7ha

問 進出する企業の調査は行ったか。

答 企画課長 同業種の工場を現地視察し、聞き取り調査を行った結果、公害等の発生及び周辺地域からの苦情も発生していないことを確認しています。また、企業調査会社にも調査を依頼し、問題ないとの報告を受けています。

問 事故が起きた場合の対応は。

答 企画課長 万が一の事故にも対応できるように、災害防止協定も含めた様々な協定を結びたいと考えます。

問 帰還者が少なく、就業希望者が集まらないことも考えられるが。

答 企画課長 町として、広報などで企業の概要などを詳しく町民にお知らせするとともに、企業が事業を継続していただけるような支援を実施していきます。



堀本 典明 議員

問 どのような思いで申し入れをしたか

答 国の考え方を示すよう強く申し入れた

問 町内に立地する管理型処分場を活用した特定廃棄物の埋め立て処分計画について、県知事、檜葉町長との3者連名により、環境大臣、復興大臣に申し入れをしているが、どのような思いで申し入れを行ったのか。

答 町長 管理型処分場が町の復興、ひいては双葉郡福島県の復興に欠かせない施設であることは十分認識はしています。国からは追加対策や施設の国有化という考えが示されましたが、管理型処分場が迷惑施設であることに変わりはなく、全員協議会や町民説明会での意見からも、町民の十分な安全、安心を確保するまで

には至っていないと感じています。このようなことから安全、安心の確保のための地域振興策について、処分場におけるさまざまな影響や本格復興を迎える町の状況などを十分考慮し、国の考え方をしっかりと示してもらうことを強く申し入れました。

問 今後は福島県、檜葉町と3者協議で進めていくのか。

答 安全対策課長 富岡町の部分、檜葉町の部分があるので、お互いに協議をしながら、最終的には一緒という形で進めていきたいと考えています。

問 今回のこの計画を受け入れないとしても、法律上キログラム当たり8,000ベクレル以下であれば、一般の廃棄物として管理型処分場で処分することができると。その場合、民間事業者間での処分となり安全対策に不安があるが、町の考えは。

答 安全対策課長 一般廃棄物は、現行の法律上、フクシマエコテッククリーンセンターに搬入できるということも踏まえて、町としてしっかりと検討していきたいと考えています。

問 仮に計画受け入れとなった場合、風評被害対策が重要であり、現地にあった対策をとるために交

答 安全対策課長 一般廃棄物は、現行の法律上、フクシマエコテッククリーンセンターに搬入できるということも踏まえて、町としてしっかりと検討していきたいと考えています。

付金は自由度が高いほうが良いのでは。

答 安全対策課長 国には交付金の使い勝手というところでの申し入れをしました。内容については、まだ何も示されていない中での自由度の高い交付金の措置ということなので、しっかりとこれから国と検討しながら、前向きな回答をもらえるよう努めます。



福島県・富岡町・檜葉町の三者申し入れ

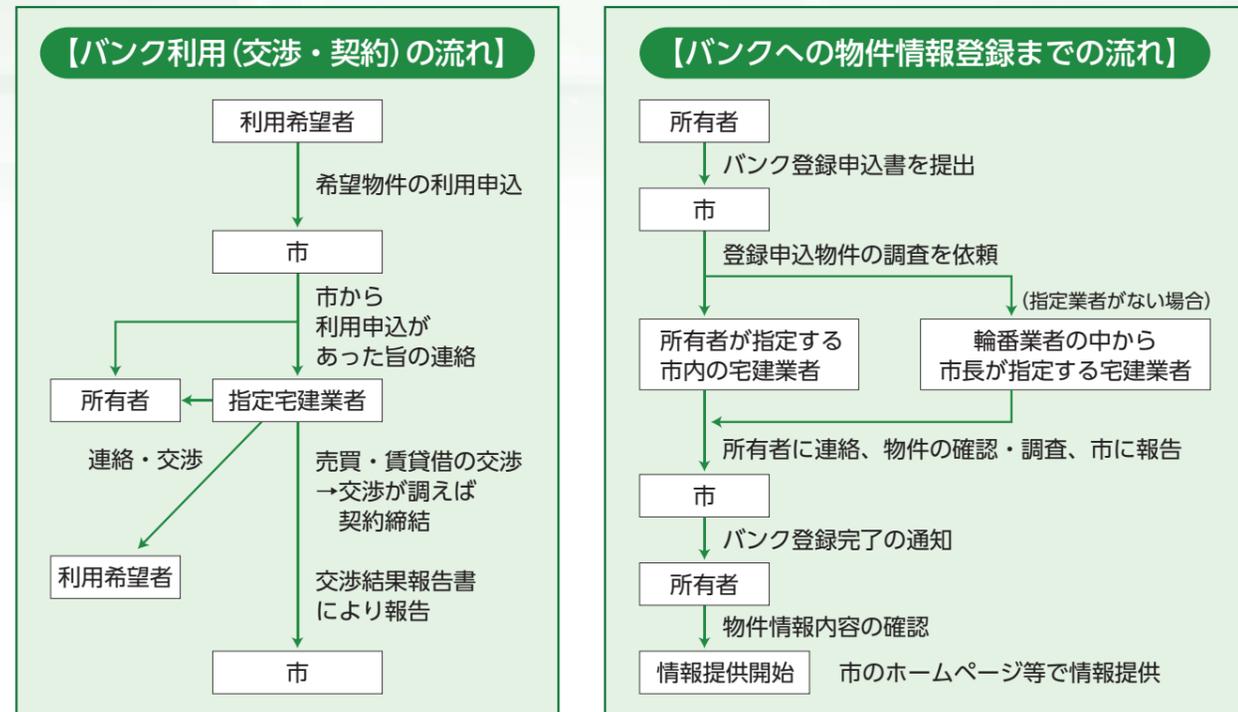
答 町長 今回の自由度の高い交付金というものが、どの程度まで自由度が緩和された交付金なのか。またどのぐらいの額になるのか、全く知られていません。このことについては、国からの返答を待ち、議会とも相談しながら、見極めていきたいと考えています。

答 町長 今回の自由度の高い交付金というものが、どの程度まで自由度が緩和された交付金なのか。またどのぐらいの額になるのか、全く知られていません。このことについては、国からの返答を待ち、議会とも相談しながら、見極めていきたいと考えています。

南相馬市の復興の取り組みを聞く

空き地・空き家バンクの概要

東日本大震災からの復興推進に向けて住宅確保と生活再建を促進するため、市内の空き家・空き地の物件情報を市が提供する仕組み（平成26年4月1日から実施）



富岡町議会は平成27年6月30日、南相馬市への行政視察を行いました。

南相馬市は、3.11の大地震による津波で636の方が犠牲になりました。現在、自宅に居住されている方は震災前の約半数であり、1万人を超える方々が市外での避難生活を余儀なくされています。

また、避難指示を受けている区域と受けていない区域が混在し、今後も非常に難しい行政運営が求められています。

これから帰還を目指す当町にとって、重要な課題となる住宅の問題や今後増加することが予想される空き地・空き家の問題について、先行して取り組んでいる南相馬市の政策を学んできました。

災害公営住宅整備の概要

- 整備する災害公営住宅戸数 350戸 うち178戸完成(平成27年6月30日現在)
- いろいろな発注方式を実施している。電気設備や機械設備を含めた一括発注やプロポーザル方式など。
- 将来的に売却を予定している災害公営住宅もある。
※耐用年数の1/6(5年)経過後に売却することができる旨、国交省に確認している。
- 既存の市営住宅戸数 1,151戸 雇用促進住宅 80戸 管理戸数 1,231戸
※基本的には用途廃止は考えていない。老朽化している建物のみ、廃止を検討中。

問 整備戸数350戸をどのように算出したのか。

答 建築住宅課

震災後1年が経過した時期に被災者に対して、希望する地区や住居の形態などのアンケートを実施しました。調査世帯数約二千世帯のうち、入居希望が約300世帯という結果を基に、350戸の整備を決定しました。

問 将来的な買い取りを要件として入居希望者を受けつけているか。

答 建築住宅課

国交省より、規定の年数経過後に売却可能との回答は得ていますが、将来的に買い取りすることを要件とした入居制限はかけられません。

問 建築工事を一括発注する際の利点は、

答 建築住宅課

本体建築、電気設備、機械設備のどれか一つでも不調になると工事ができないということが防げるのが大きな利点です。基本的に一括発注しても工事費は変わりません。



28戸の一戸建てが並ぶ(西川原団地)

問 空き地・空き家バンクの利用状況は。

答 建築住宅課

平成27年6月24日現在で、申込受理数が45件、契約成立数が12件となっています。

問 宅建業者と利用希望者との交渉には行政は関わらないのか。

答 建築住宅課

職員の人員不足及び宅建の資格を持っていないということ、交渉に直接関わることはしていません。

しかし、紹介する宅建業者は市の協会に登録し、協定も結んでいる信頼のおける業者なので、交渉に直接行政が関わらなくても問題はないと考えています。

問 登録された土地の農地転用は可能か。

答 建築住宅課

農業委員会に確認し、農地転用ができる土地のみを登録しています。

南相馬市では、被災者が農地を購入し、家を建てる場合は、速やかに農地転用できるように配慮しています。

問 住民票を異動する必要があるか。

答 建築住宅課

本制度の趣旨が、南相馬市への定住を促進するためのものであるため、住民票を南相馬市に異動していただく必要があります。

産業復興常任委員会

総務常任委員会

Q 新たに設置する街路灯は倒壊の恐れのないものにしてほしいが。

A 支柱型ではなく、できるだけ電柱一体型の街路灯にしたいと考えます。

Q LEDにすべきでは。

A LEDの街路灯を考えています。なお、商店街の街路灯については、商店街の方々と協議をして決定していきたいと考えます。

【復旧課】

Q 今後の避難指示解除を見据えて、再度の大型不用品の回収を要望しては。

A 環境省にしっかり伝え、1回だけという取り決めにこだわらず回収してもらえるよう要望します。

【復興推進課】

Q 県外避難者支援拠点の活動状況は。

A まずは電話連絡を行い、お話をさせていただくという活動をしています。また、現在は関東圏を中心に個別訪問をしていますが、どうしても早急に対応してなければならない方がいると判断した場合には、臨機応変に対応するよう要請しています。

【生活支援課】

Q 町内に整備される商業施設の進捗状況は。

A 適地選定や事業の規模感などの調査結果を受け、町としてどのような施設を作るのかという方向性が見えてきた段階です。今後、避難解除時期や、その前段の準備宿泊時期を見据えながら、スケジュールを決定し、着実に進めていきたいと考えます。

【産業振興課】

Q 手術や救急などの二次医療への対応は。

A 町として、これまで県や国に、双葉郡内に二次医療機能を備えた総合病院の誘致を要望してきました。先ごろ、ようやく県の地域医療課を担当部局とした双葉郡の地域医療を検討する組織が立ち上がり、今後具体的な検討を進めていく方針です。

【健康福祉課】

Q マイナンバー制度において、配布するカードに貼付する写真はどのように取得するのか。

A カードの申請方法によって写真の受領方法が変わります。
①紙面による申請→写真を同封
②来庁による申請→持参か窓口で撮影
③インターネットでの申請→写真データを添付

【住民課】

Q 10年目を迎える双葉地区教育構想の今後をどう考えるか。

A 現在のような避難状況が続く中で、富岡町民ではないバドミントンの子どもたちとの関わり、富岡町の学校の今後、猪苗代中学校にお世話になっている現状など、様々な課題を考慮しながら、検討している段階です。

【教育委員会】

Q 自分で家を建てた後も、仮設住宅を借り続けている方はいるか。

A 正確な数は把握できていませんが、ゼロではないと認識しています。水道メーターによる居住実態調査や新居を購入したという情報等をもとに退去勧奨を行うなど、生活支援課と連携して、適正な入退去事務を行います。

【三春・大玉出張所】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し、議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。また、それぞれの常任委員会が調査した主な事業について報告します。

教育環境を見る・聞く・感じる ～学校訪問～

平成27年6月24日に総務常任委員会を富岡町立小中学校三春校内で開催しました。幼稚園・小学校・中学校の授業を参観し、子どもたちの教育環境を確認しました。併せて、各学校長及び教育委員の方々と現在抱えている課題や気になっている点について、意見交換を行いました。

課題

知識力は十分あるが、その知識を使い、問題解決に応用する力が乏しい傾向が見られる。

対策

単に知識を詰め込むだけの学習ではなく、得た知識を実際に活用できる力を養うための授業を行っている。



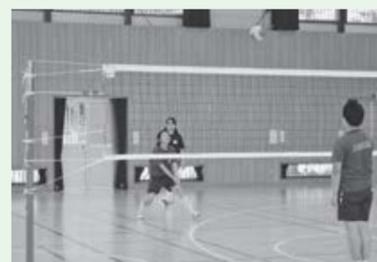
発想力、創造力を問う学習

課題

スクールバスで登下校しているため、歩く機会が少なく、体力の低下が見られる。

対策

新たに体育館が完成し、悪天候でも心配せずに運動できるようになった。また、放課後にバドミントンや卓球などの部活動も開始された。



バレーコートも2面とれる広さ

論 問 帰町後の学校のあり方は 議 答 まだ明確な回答はできない

【質問】
町が帰町判断をする平成29年4月まで残り1年10カ月を切っている。今後の富岡町立幼稚園・小学校・中学校をどうするのか、教育長としての考えは。

して、教育を受ける機会の保障はしなければならぬと考えますし、保護者ともよく相談した上で、富岡町で学校を再開しなければならぬと考えています。

また、同時に三春校についても今後どうするべきか、見極めなければならぬ時期が来ます。檜葉町や葛尾村など、先行して帰還する自治体の動向も注視しながら、検討していきたいと考えます。

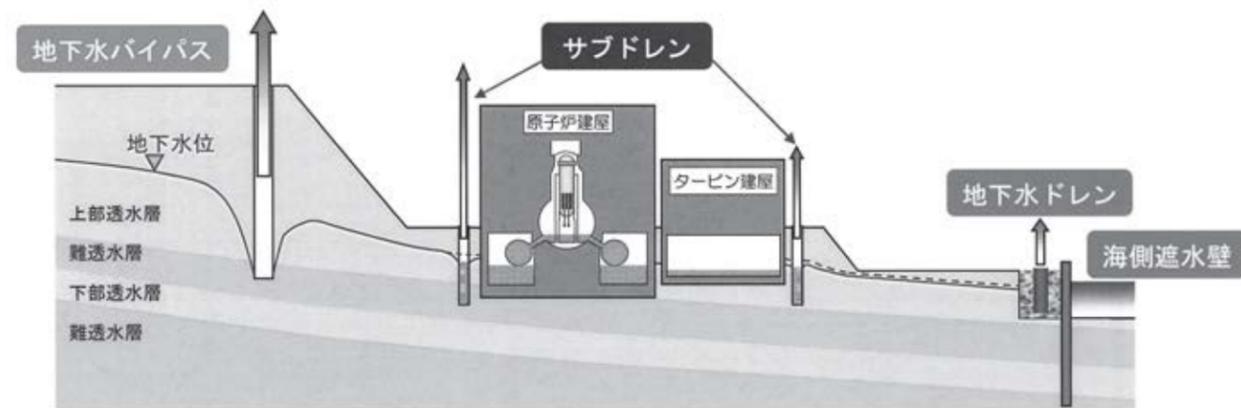
今後の学校のあり方については、教育委員長とも検討を重ねていますが、現段階では明確な回答ができない状態です。

【回答】教育長

帰町宣言がなされたとしても、放射線量の問題があるので、富岡町で学校を再開させて、子どもたちを呼び集めるといふことは、非常に慎重に判断しなければならぬと感じています。しかし、帰町宣言後は、親が子どもを連れて帰町する場合というものも想定しなければなりません。

その際には、行政と

平成27年9月4日に開催した特別委員会で、海洋汚染をより確実に防止するための取り組みとして、サブドレンの稼働と海側遮水壁の閉合について、東京電力(株)より説明を受けました。



- 海側に流れ込む地下水は、護岸に設置した井戸(地下水ドレン)でくみ上げる。
- 地下水ドレンより上流側にある建屋近傍の井戸(サブドレン)も利用することで、海側に流れる地下水の量を低減させる。
- サブドレンで地下水をくみ上げることで、原子炉建屋に流入する地下水を大幅に低減。
⇒発電所構内で発生する高濃度汚染水の量を減らすことになり、港湾内への汚染拡大リスクの低減につながる。

地下水のくみ上げに対する考え方と 今後の管理、保管方法を問う

問 井戸から汲み上げる水量はどの程度を想定しているか。

答 東京電力(株)
原子炉建屋の周りのサブドレンからは1日500トン、海側の地下水ドレンからは50トンほどの汲み上げを想定しています。建屋内の水位とのバランスを考えながら、慎重に汲み上げたいと考えます。

問 サブドレンで地下水を汲み上げること、建屋への流入水量はどの程度になるか。

答 東京電力(株)
現在、建屋への1日の流入水量は約300

トンです。これを半分150トンにしたいという目論みですが、実際にやってみないとわからないというのが実情です。

問 排水計画は。

答 東京電力(株)
まずは山側の井戸から、そして放射能物質濃度の低い井戸から順に排水する考えです。

問 濃度の高い井戸の地下水の処理方法は。

答 東京電力(株)
トリチウム濃度の高い地下水については、別のタンクに貯めておき、排水の対象としない考えです。

問 排水に対して、厳しい運用目標を設定するとあるが、どの程度か。

答 東京電力(株)
左表の運用目標が水を排水する際の濃度数値です。WHOが定めた飲料水の基準よりも低い値です。ただ現在、私たちが実際に飲む井戸水からはセシウム等は検出されていないということも事実です。

	運用目標	WHO飲料水 水質ガイドライン (※1)
セシウム134	1	10
セシウム137	1	10
トリチウム	1,500	10,000

※WHOが定めた飲料水の基準

復興へのあゆみ

Step.4

昨年各地で開催した意見交換会や様々な『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を私たち編集委員が現地に行き、

イベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

3 富岡町役場保健センターで業務再開

10月1日より、復旧課及び復興推進課が富岡町で業務を再開しました。また、環境省の職員も4名常駐(除染担当3名、廃棄物担当1名)し、対応を開始しました。



保健センター

業務再開



復旧課・復興推進課



環境省



4 国際共同研究棟設置が決定



イメージ図

王塚地区(役場庁舎西側)に廃炉国際共同研究センター「国際共同研究棟」の設置が決定しました。

1 富岡町交流サロンを開所



交流サロン内休憩スペース

一時帰宅される方の休憩・交流の場として、10月5日に交流サロンを開所しました。

2 双葉警察署



双葉警察署

10月1日より、双葉警察署の一部業務を中央二丁目の同署本庁舎で再開しました。

友好都市 『杉戸町議会議員団』 来町

平成27年6月27日、当町と友好都市である杉戸町議会の議員団が来町しました。

今回の来町の目的は、富岡町内の現況を知りたいということで、町内各所の除染状況や被災状況の確認、毛萱地区で稼働している放射性廃棄物処理施設等の視察を行いました。

今後もお互いの議会活動を通して、友好を深めていきます。



廃棄物処理施設を視察



- 発行責任者 議長 塚野芳美
- 委員長 高野 泰
- 副委員長 堀本典明
- 委員 早川恒久
- 委員 遠藤一善
- 委員 山本育男
- 委員 渡辺英博

議会報編集特別委員会

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



ちよひこと みなさまの声

「ふたば商工株式会社」社長の遠藤と申します。

弊社は富岡町商工会会員有志が集い、富岡町の復興に寄与することを目的として平成26年6月に設立させていただき、この度富岡町交流サロンの日直業務を受託いたしました。

富岡町交流サロンの運営スタッフは、すべて富岡町民です。町民の方には安心して立ち寄っていただき、それぞれの昔話やこれからのことを話せる憩いの場になればと思っています。

ぜひお立ち寄りください。スタッフ一同笑顔でお待ちしています。



ふたば商工株式会社
社長 遠藤さん

カレンダーも残す所わずかになり、月日の過ぎるのが早く感じる今日この頃です。今年には戦後七十周年、町村合併六十周年の節目に当たり、先人の礎の上に立ち、歴史の歩を復興と一緒に進んでいきたいと思えます。表紙の写真は先生と一緒にスーパームーンにお団子をお供えし、自然の恵みに感謝しているところです。地球温暖化による災害もありました。備えあれば憂いなしで今日も一歩、一歩確実に…。

(高野 泰)



富岡町公式ホームページ



富岡町 で 検索